

MY 健康経営

経営者と法人の健康・健全を考える情報誌

1

2022
VOL.034

健康経営ケーススタディ

“人財”を大切に**する健康経営**に取り組み 情報を発信することで**地域に貢献**。

社会福祉法人大洲育成園◆愛媛

ビジネスの新潮流

大義名分を大切に**して道徳的に事業を**
展開する企業が**持続と発展を実現する**

坂口孝則



アイディアが生んだ新機軸

短時間でリフレッシュ&集中力UP
聞く健康機器

シンプル瞑想

アスリートに聞く！スポーツで健康 Sports for Health

三浦桃香

今、自分が**できること**を
選択して**真摯**に取り組み、
周囲に**想い**を
伝えることで**自分を守る**。



ビジネスネットワーク 注目企業インタビュー

テクスト桐生株式会社◆群馬
有限会社橋本建設◆香川

ビジネスセミナー

2021年3月施行改正会社法
会社と役員**の補償契約** 古川修一
税務調査で**指摘**を受けないための
決算対策における**留意点** 沓掛伸幸

みんなの
健活
プロジェクト



一般社団法人日本ホームヘルス機器協会から使用時の安全性と品質保証が認められ、「健康増進機器」としての認定も取得している。今後は、スピーカーが付属したものや、Bluetoothを内蔵したものも製品化していく予定



短時間でリフレッシュ&集中力UP 聞く健康機器「シンプル瞑想」

出力される音を10分間聞くだけで、1時間の瞑想と同等の状態に近づける健康機器「シンプル瞑想」を株式会社セルパワーが開発しました。瞑想時の脳波であるα波、もしくは、θ波の状態に近づくようにサポートし、リラクセスとリフレッシュができる状態へと導きます。本製品の開発経緯、工夫した点、今後の展望などをお伺いしました。

脳波を手軽に瞑想時の状態に近づけることができる本製品は、故政木和三氏の発明をもとに、使いやすい仕様にアレンジしたものです。同社の代表である佐々木耕司氏は、本製品の前身となる機器を27年前に購入し、長きにわたる日常的に愛用してきました。10年ほど前、長年の使用でその機器の調子が悪くなったときには、もう販売されていませんでした。このことがきっかけとなり、使い勝手のいい新製品を自身でつくることを決意。2016年ごろから開発に着手し、携帯音楽プレーヤーのように小型で持ち運び可能な、USBで充電できる機器をめざし、2年の開発期間を経て製品化に漕ぎつけたのです。

本製品は、左から151Hz、右から142〜149Hzの音を発生させます。この音を左右の耳から同時に聞くことで、右脳と左脳のバランスをサポート。このバランスが取れた状態が、1時間ほど瞑想した後の脳の様子と似た状態になります。

また本製品は、子どもからお年寄りまで、幅広い年代の人が使用可能です。利用者からは「リラクセスできた」、「雑念がなくなり、ストレス軽減に最適」、「いいアイディアが出やすい」などの感想が寄せられ、好評を博しています。

また、じつとしてるのが苦手な多動性障がいの子どもたちが本製品を使用したところ、落ち着いて椅子に座って作業できるようになるなど、同社が想定していなかった事例もありました。加えて、学習塾で本製品の使用後に成績の上昇傾向が見受けられたり、認知症の人が入浴を嫌がらなくなったなどの事例が報告されています。

本製品のコンパクト化が課題で、同社は基盤の配線を細くするために苦労を重ねました。さらに、安全性の高いニッケル水素電池を採用したほか、当初付加していた数多くの機能を最終的にあえて排除し、8時間の充電で20時間も使えるようにするなど、使い勝手を向上させるためのさまざまな工夫を凝らしました。付加機能を搭載した試作機では、待機電流が多く充電池がすぐに空になってしまい、このことが利用者のストレスの原因になりかねないかと判断し、思い切って必要な機能だけにとどめました。

同社は、「セルパワー」という磁力を活かした健康機器も販売中です。本製品で心の健康を、セルパワーで体の健康を支え、この二つの製品を柱に、多くの人の健康維持に役立っていきたいと考えています。



左耳への151Hzの音は、右脳に60%、左脳に40%伝わり、右耳への142~149Hzの音は、左脳に60%、右脳に40%伝わる。両耳で同時に聞いた場合、2~9Hzの周波数の差によるゆらぎを受け、うなるようなビート音として脳が認識する。それが、脳をα波とθ波の状態へと近づけていく



株式会社セルパワー

2014年設立。健康機器の製造、販売を手がけている。本製品のほかに、マッサージでは届かない体の奥に磁力でアプローチする健康機器「セルパワー」も提供している。

URL : <https://www.cellpower.jp/>